

# 教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価報告書

(平成19年度分)

平成20年11月

北名古屋市教育委員会

# 平成19年度教育委員会点検評価報告書

平成20年11月18日  
北名古屋市教育委員会

## 1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表するものとされた。なお、点検及び評価を行う際には、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとされている。

本市は、平成19年度から行政評価に取り組んでいるが、教育委員会は行政評価とは別に上記の法に基づく点検評価を行い、より質の高い教育行政を実現するとともに、市民に対する説明責任を果たすこととし、本報告書をまとめた。

## 2 点検及び評価の対象

平成19年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況。

## 3 点検及び評価の方法

教育委員会事務局は平成19年度実績をまとめるとともに、平成19年度教育委員会方針に掲げた重点目標について内部で、「必要性」・「有効性」・「効率性」・「達成度」の4視点から点検評価を行い教育委員会点検評価書としてまとめ、平成20年11月教育委員会にて議決した。

また、この点検評価を行うに当たっては、北名古屋市教育委員会外部評価委員の知見を活用した。報告書に委員のコメントを付した。

なお、各小中学校については従前より学校評価が行われており、その結果を教育委員会点検評価に資料として付した。

### ○評価判定基準

- |                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>AA：大変良い。現在の水準で継続する。</p> <p>A：概ね良い。内容をさらに充実して継続する。</p> <p>B：良いが、見直しの必要がある。改善をして継続する。</p> <p>C：評価が低く、抜本的な見直しを行うか、廃止をする。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 4 点検評価の概要

平成19年度は、教育委員会全体で44の重点目標について試行的に実施した。評価の結果をまとめるとAA評価は11目標、A評価は29目標、B評価は4目標

で、C評価はなかった。

学校教育においては、AA評価が4目標、A評価が12目標、B評価が3目標でC評価はなかった。

子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせ、生きる力を育むため小学校1年生、中学校3年生において複数担任制を実施し、学力向上の基礎となる生活習慣や学習習慣を育み、きめ細かな指導を行う等の適切な指導がなされた結果、基礎学力の定着については概ね良好であった。今後、基礎学力をほぼ全ての子どもたちに身につけさせるためには、教員の授業力のさらなる向上とともに、家庭との連携を一層進め、学力向上の基礎となる生活習慣や学習習慣を確実に身につけさせることが必要である。

心の教育については、全ての中学校2年生が職場体験を行い、勤労観・職業観の育成を図り、いじめ克服プログラムによるいじめ対策が進められている等、道徳教育、体験活動が着実に行われ、子どもたちに命と人権を大切にし、夢に向かって生きる心が概ね順調に育っている。

特別支援教育については、各学校、各教員の努力により向上している。しかし、一部に課題も残しており、より一層の物的、人的支援が必要である。

登下校、在校中の安心・安全対策については、積極的に取り組んでいる。校舎の耐震補強については、財政的な問題があるが、計画を前倒して進める等の検討が必要である。

生涯学習においては、AA評価が4目標、A評価が10目標、B及びC評価はなかった。

市民の高まりつつある学習意欲に応えるよう、多様なニーズに応える各種講座を行った。また、生涯学習に必要な資料を入手しやすい環境を進めた。とりわけ、図書館については、年間約50万人もの市民が利用する等その中核的役割を果たしている。

教育の出発点である家庭教育の充実や青少年健全育成に向け、支援体制の強化が図られ、成果をあげつつある。今後は、放課後子ども教室の開設促進を支援するとともに地域との協働体制を強化する必要がある。なお、独自で創造的な取り組みをしている昭和日常博物館、回想法は特筆すべきものである。

スポーツ振興では、AA評価が3目標、A評価が7目標、B評価が1目標でC評価はなかった。

誰もが主体的・継続的にスポーツに親しめる環境づくりの一環として、東地区に総合型地域スポーツクラブを新たに立ち上げた。スポーツ・レクリエーションを通して地域、学校等、人とのつながり、仲間づくり及び地域住民の健康づくりに大きく貢献できた。

スポーツ施設利用では、健康ドームが前年度比約33,000人、27パーセント増、市民グラウンドは、約6,700人、52パーセント増等、全体としては利用者が増加している。大人から子どもまでさまざまな人たちがスポーツ、レクリエーション等に、市内各種施設の有効利用を図っている。

今後は、校舎耐震工事等により学校開放施設、スポーツ施設の確保が難しくなると思われるので、長期計画を作成し、屋外の公共施設新設も含めた確保を検討する必要がある。

## 5 外部評価

### 学校教育

- ・ 1年間の実践報告と、目標を基準としたその実践の評価との間に論理的一貫性が構築されている。
- ・ 読み書きの力、計算力に並ぶ「基礎基本」である読解力の低下に歯止めをかける意味においても、ぜひ学校図書館にかかわる目標を設定し、目標実現に向けて実践していくことを期待する。
- ・ 現在、学校の図書室は、古い本が多くて新本が少なく、子どもたちに魅力がなく、また、先生方も図書室の活用について、関心が薄いように感じる。学校図書の予算をもっと充実して、子どもたちがより図書室を活用するような、魅力のある学校図書室にしていくべきである。
- ・ 複数担任制を実施し、基礎学力の向上、学習習慣の定着を図るのは良いことであるが、中学校では、3年生より1年生に導入した方が、より適切と考える。1年生で学力がしっかりと定着すれば、子どもたちに自信が出てきて、2年生、3年生になっても生活の乱れが減少し、非行問題の減少にも繋がり、より学力の向上が図られ、大いに役立つと考えられる。
- ・ 全校の校舎の耐震補強を早急に進めて欲しい。学校の耐震工事には、莫大な費用が必要であるが、耐震工事の予算により、教育関係の予算が非常に多いと見られがちである。その為に、耐震工事以外への教育予算が削られて、教育に支障をきたしているのが現状である。耐震工事の予算を別扱いにして、学校教育に必要な予算を組むべきである。
- ・ 国語、算数・数学の定着状況は、大体満足できる状態である。国語は、全ての教科の基礎であるから、さらに徹底して、基礎学力を定着させるとともに、読書力と作文力の向上について、指導の強化を図っていただきたい。算数・数学は、既習事項が完全に理解・定着されていないと、次に進めないという教科の特殊性から、概ね理解できたということで満足せず、完全に理解・定着させるようにご尽力いただきたい。また、算数・数学は、思考力を付けるために、日頃の授業で子どもたちに考えさせる授業を重視するとともに、教え込むことは徹底的に教え、考えさせることは、徹底的に考えさせ、その区別をはっきりさせて、日頃の指導に当たるようにご指導いただきたい。
- ・ 現在の子どもは夢を持っていないと言われており、言い換えれば、将来の生き方についての目標を持っていない。目標がないと、どうしても勉強に熱が入らない。しかし、北名古屋市教育委員会では、「夢を持ち、将来の生き方を考えさせる教育」が行われているのは、大変良いことだ。今後も、ぜひ、推進していただきたい。また、規範の薄れは、非行化に結びつくが、本市では、決まりを守っている児童・生

徒が約9割とほとんどで、良いことだ。しかし、残りの1割の規範を守らない者が、学校生活や社会生活を乱し、子どもたちが授業に集中できず、また、教師も生徒指導に振り回されて、教材研究をする時間も削られ、授業中の学習指導にも集中できないという悪循環に陥り、学力の低下をもたらす。全員が規範をしっかり守れるように、一層の徹底を図っていただきたい。

- ・子どもの学力の向上を図り、保護者、地域との信頼関係を構築するには、教師の指導力の向上は、欠くべからざる非常に重要な課題である。全ての学校がテーマを持ち、校内授業研究に取り組み、指導力の向上に努力しておられるのは、素晴らしいことである。また、指導主事が学校を訪問し、指導助言をして指導力の向上にご尽力いただいていることには、敬意を表する。さらに、教師の指導力を向上させるには、上から与えられた授業研究をしているだけでは限度があるので、教師自らが自主的に、毎日、教材研究をし、研修を深めるとともに、自主的に略案、中間案、密案等の指導案を1か月に一度は書き、自ら指導力の向上に努力するよう願う。そのことが、子どもたちの学力をさらに向上させ、学力が付けば、子どもたちも自信を持つようになり、それが、学校生活の安定に繋がり、非行化を防止し、さらに、保護者、地域の信頼関係を強固にすることに繋がり、学校への信頼関係もさらに深まり、教育効果も一層上がると信じる。

## 生涯学習

- ・北名古屋市には、音楽学部・美術学部・デザイン学部・人間発達学部という4学部をもつ名古屋芸術大学がある。この大学と連携した生涯学習を現在一部で行っているが、さらに、各学部とも連携した事業の拡充を進めてもらいたい。
- ・家庭の教育力の低下が叫ばれて久しい。北名古屋市では、地域ぐるみの子どもの健全育成の実践や、父親の子育てへの参加やボランティア活動等を積極的に展開しているのは、良いことである。しかし、一番大切な幼児期のしつけ等の家庭教育が、きちんと行われていないように思う。乳児健診、幼児の検診、また、親が勤務している職場等で、できるだけ多くの機会をとらえて、親に対して家庭教育についての指導を行うと良いのではないか。子育てに対する親の教育をもっと重視していただきたい。
- ・市民の学習意欲の向上を目指して、色々な講座が用意され、事業を計画的に行われているのは、良いことである。今後は、高齢化社会が益々進展し、元気で学習意欲のある高齢者が増加すると考えられる。その為、知識欲旺盛な高齢者に魅力ある講座や高齢者大学等を開設し、大学の入学者には、歴史、文学、科学、英語等の外国語、陶芸・絵画等の芸術、健康その他の講座を開設し、選択性で受講できるようにする。また、その中にクラブ活動や発表会等を取り入れ、安い費用で高齢者が知的に満足できるものを作るとともに、家の中に閉じこもりがちな高齢者が外で活躍する機会を設け、高齢者同士の絆を深めることも今以上に必要ではないだろうか。
- ・図書館、昭和日常博物館、回想法は、非常に充実しており、今後も一層の推進を図っていただきたい。

## スポーツ振興

- ・地域住民への学校体育施設の開放は意味のあることであり、十分に評価することができる。
- ・多種多様なスポーツ・レクリエーションの振興だけではなく、スポーツ・レクリエーションを行うときの安全性の確保という点に対しても評価してみてもどうか。
- ・既存のスポーツクラブの他に今回、東スポーツクラブが開設されたことは、良いことである。現在は、西地区スポーツクラブ、東地区スポーツクラブ、体育協会の3本立てのような感じを受けるため、お互いに啓発活動を一層進め理解促進を図る必要がある。その結果、スポーツクラブの会員も今まで以上に増加し、会員相互の親睦、健康増進に繋がると考えられる。

外部評価委員 森田裕之：名古屋芸術大学人間発達学部准教授  
村瀬義雄：前教育長

## 6 おわりに

本年度から、教育事務の点検・評価を有識者の知見を活用しつつ実施した。全体としては概ね良好であったが、いくつかの指摘をいただいた。教育委員会として改善策の方向性を改めて確認し、継続的に業務改善活動を推進するマネジメント手法の一つであるPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの活用や、長期的な視点に立った教育行政を体系的に推し進め、責任を果たしていきたい。

# 平成19年度 教育委員会点検評価書

## I 学校教育グループ

### (1) 学習意欲を向上させ、基礎・基本の確実な定着を図る

#### ア 基礎基本を定着させる授業実践とその検証・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

全ての学校において、学校教育法施行規則に示された標準時数を上回って授業を行い、基礎基本を定着させた。

・平成19年度における授業日数及び授業時数（平均総授業時数）

| 学 年  | 小1  | 小2  | 小3  | 小4    | 小5    | 小6    | 中1    | 中2    | 中3    |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 授業日数 | 200 | 199 | 199 | 199   | 200   | 198   | 202   | 202   | 191   |
| 授業時数 | 885 | 924 | 992 | 1,050 | 1,061 | 1,050 | 1,059 | 1,058 | 1,009 |
| 標準時数 | 782 | 840 | 910 | 945   | 945   | 945   | 980   | 980   | 980   |

平成19年度の基礎基本の定着状況と意欲

国語の読み書き等の定着状況

| 学 年  | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 定着状況 | 98 | 92 | 91 | 91 | 83 | 92 | 89 | 90 |
| 意欲あり | 94 | 92 | 90 | 93 | 95 | 95 | 82 | 81 |

（観点別学習状況診断による十分満足と概ね満足の者の割合：％、中3は実施せず）

算数・数学の計算等の定着状況

| 学 年  | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 定着状況 | 99 | 99 | 92 | 85 | 84 | 85 | 77 | 84 |
| 意欲あり | 95 | 94 | 94 | 93 | 93 | 91 | 82 | 77 |

（観点別学習状況診断による十分満足と概ね満足の者の割合：％、中3は実施せず）

#### イ 英語活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

小学校に2人、中学校に2人の外国語指導助手を派遣し、実践的なコミュニケーション能力の育成を図った。小学校では3年生以上に年間平均1クラス16回、中学校では20回の授業を実施した。

聞く・話す能力の定着状況

| 学 年 | 中1 | 中2 |
|-----|----|----|
| 聞 く | 88 | 68 |
| 話 す | 80 | 74 |

（観点別学習状況診断による正答者の割合：％、中3は実施せず）

ウ より良い学習環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

A

エコ改修工事の進む西春中学校を除く中学校5校に、夏季の学習環境をより良くするため、普通教室と一部の特別教室に扇風機を設置した。

| 学校名   | 設置教室数 | 設置台数 |
|-------|-------|------|
| 師勝中学校 | 19    | 78   |
| 白木中学校 | 18    | 76   |
| 訓原中学校 | 15    | 60   |
| 熊野中学校 | 19    | 78   |
| 天神中学校 | 14    | 60   |
| 計     | 85    | 352  |

(2) 道徳教育・体験活動を充実し、命と人権を大切にし、夢に向かって共に生きる心を育てる

ア いじめが起きない学校をめざし、いじめ克服プログラム

を推進・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

A

いじめ克服プログラムの見直しを含め、いじめ問題の克服に向け教育委員会の指導のもと全ての学校で取り組んだ。

平成19年度において、小学校では、85件のいじめを把握し、その内の77件については解決した。残りの8件については指導を継続した。中学校では、57件のいじめを把握し、その内の46件については解決した。残りの11件については指導を継続した。

イ 夢を持って生き方や将来を考え、進路を選択する能力や

態度を養うキャリア教育を推進・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

A

小・中学校共に、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、すべての教育活動を通して発達段階に応じたキャリア教育(従来の「進路指導」を小学校段階から実施し、適切な進路選択能力を育む教育)を推進した。特に中学校では、全ての中学校2年生が3日間の職場体験活動を行った。

平成19年度職場体験活動実施人数: 712人(クラス数: 21クラス)

受入協力事業所数 北名古屋市内: 90箇所 北名古屋市外: 11箇所

ウ 規範意識の育成とその徹底・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

A

市生徒指導連絡協議会、市青少年育成会議等、地域との連携を積極的に行った。「学校のきまりを概ね守っている。」とする児童の率は89%であった。同様に「学校の規則を概ね守っている。」とする生徒の率は84%であった。

(3) 教育の専門家としての自覚を高め、実践力・指導力の向上

を図る・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

A

全ての学校が、それぞれにテーマを持ち校内授業研究(OJT)に取り組み、指導力向上を図った。なお、指導主事が全校を訪問し、指導助言を行った。

小学校においては、1校当たり平均12回、29時間の授業研究を行い、延べ93%の教員がスキル・チェックを受け、スキル・アップを図った。

中学校においては、1校当たり平均7回、14時間の授業研究を行い、延べ63%の教員がスキル・チェックを受け、スキル・アップを図った。

(4) 魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりを進める

ア 学校情報の積極的公開・・・・・・・・

評価

B

各小中学校が独自にホームページを作成し情報を公開した。ただ更新回数が少ない学校が幾つかあった。

イ 特別支援教育推進体制の充実・・・・・・・・

評価

A

師勝中学校を除く15の小・中学校に特別支援学級を設置するとともに、通級指導教室を開設している。また、全ての学校に校内委員会を設けるとともに、特別支援教育コーディネーターを養成し配置した。

各学校では、専門家を招き、障害児事例研究会等を行うとともに、小学校では、83%、中学校で69%の教員が特別支援教育研修を受講し、スキル・アップを図った。

さらに、個別の指導計画を特別支援学級はもとより通常学級においても策定している小学校が8校、中学校が5校であった。同様に個別の教育支援計画を通常学級において策定している小学校が7校、中学校が4校であった。

(特別支援教育：教育上特別の支援を要する児童生徒に、困難を克服し自立を図るために必要な教育)

ウ 通学区域の見直し・・・・・・・・

評価

AA

合併による小中学校の通学区域の見直しを図るため、通学区域審議会を設置した。審議会では学校の現状、児童・生徒数の推移と将来推計、学級編成基準、学校施設の状況、学校配置などを参考に調査検討を重ね、平成19年8月17日に教育委員会に答申した。教育委員会は、答申を受けて区域外就学に関する基準を平成19年8月30日に改正し、運用の弾力化を図った。

なお、平成20年度の入学にあたって、就学指定校を申し出によって変更した件数は、小学校2件、中学校6件であった。

(5) 家庭・地域との連携・協働を図り、子どもの安全を守る取り組みを進める

ア 学校エコ改修（環境省モデル事業）による耐震補強とエコ

改修工事を行う・・・・・・・・・・・・・・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

西春中学校のエコ改修工事は、平成19年度末の工事進捗率は約56%である。耐震補強工事、エコ改修工事、環境学習センター棟の増築工事を一体的に行っており、完成した部屋から順次利用を開始している。

イ 校舎・体育館の耐震化の推進・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | B |
|----|---|

師勝北小学校校舎、師勝中学校体育館の工事を行った。校舎は16校中8校、体育館は熊野中学校を除く全ての学校で耐震補強工事が完了した。平成19年度末での校舎・体育館の耐震化率（棟数）は、小学校で76.9%、中学校で54.3%である。

ウ 不審者進入対策の推進・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

防犯カメラを東地区の5小学校に設置し、既設置の5小学校を含め全ての小学校に防犯カメラを設置した。さすまた等の護身器具の整備とともに、警察等への通報システムの整備を図った。また、全ての学校において、不審者侵入対応危機管理マニュアルが作成され、防犯訓練を実施した。

エ 不審者対策の推進・充実・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

防犯ブザーを小学校入学時に配布した。さらに、全児童・生徒が通学時に所持し、使用できるように定期的に点検・使用法等を指導した。小学校では保護者やスクールガード（503人）による付添登下校、見守り、見回りなどの不審者対策を実施した。なお、平成19年度の北名古屋市内の不審者情報は22件であった。

オ 不審者情報の発信、防犯マップの点検、防犯ボランティア

との連携強化・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

全ての学校で児童生徒とともに防犯マップを作成・点検を行った。さらに、子ども110番の家の所在を児童生徒に確認させた。また、防犯ボランティアも含め保護者の緊急メールへの登録率を高め、不審者情報をより早く情報伝達できる体制を整えた。平成19年度末での携帯メールの登録率は約87%であった。

カ 交通安全対策の推進・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

全小学校では、市交通安全協会の協力を得て、小学校3年生の全児童を対象に自転車教室を実施し、正しく安全な自転車の乗り方を学ん

だ。小学生の交通事故は、対前年比、１１件の減少となった。

#### 平成１９年 市内小学生の交通事故

| 形 態    | 18 年 | 19 年 | 前年比 |
|--------|------|------|-----|
| 歩 行 中  | 7    | 5    | △2  |
| 自転車乗車中 | 20   | 11   | △9  |

#### キ 教育設備の充実・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

B

児童生徒達が学校生活を快適に安心して送れるよう、老朽化した学校設備の更新・修繕を行った。また、耐震改修工事にあわせトイレの洋式化、バリアフリー化など時代に即した改修を行った。

#### ク 教育費に対する援助費等の充実・・・・・・・・

評価

AA

経済的理由により就学困難な児童生徒について、学用品費等必要な援助を行い、児童生徒の就学を確保した。援助者数は、小学校３３２人、中学校１７０人であった。

#### ケ 高等学校等の振興・・・・・・・・・・・・・・・・

評価

AA

保護者負担の軽減を図るため、高等学校等に在籍する者に係る授業料等に対し、所得区分に応じた補助金を交付した。交付件数は総数で３８０件であった。

## Ⅱ 生涯学習グループ

### (1) 社会教育の振興

#### ア 男女の人権・社会参画市民アンケートを基に、男女共同参画プランの策定を行う・・・・・・・・

評価

AA

男女共同参画審議会、男女共同参画推進本部、職員ワーキング部会、市民ワークショップを経て、市民意識調査を反映した男女共同参画プランを策定した。また、男女共同参画情報紙「とらいあんぐる」を年２回発行するとともに、国立女性教育会館主催フォーラム及び日本女性会議２００７ひろしまに審議会委員を派遣した。そして、市民による男女共同参画推進補助事業の実施やあいち国際女性映画祭２００７、ライフアップセミナー（男女共同参画講座）を開催し、市民と協働したまちづくりを展開した。

**イ 家庭教育のあり方を見つめ直すことで、地域・家庭の  
教育力の活性化を図る・・・・・・・・・・・・・・・・**

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

地域ぐるみによる子どもの健全育成のため、大人と子どもの「地域ふれあい活動」を2小学校で実践活動し、子育てへの父親の参加を推進するため、全小学校で「おやじの会」活動を実施した。また、子どもの体験活動・ボランティア活動への支援として、体験活動ボランティア活動推進事業（わくわく体験教室）を11教室開催、きたっこスクール（将棋、太鼓）や子ども交流セミナーを実施するとともに、体験活動ボランティア活動支援センターでは、登録された55団体、個人30人にコーディネートし、67事業が展開され、地域の教育力の活性化に繋がった。そして、子育て支援事業では、いきいき子育てセミナーを7回開催した。人形のまち北なごやパペットフェスタの開催や市民・家庭の「ふれあい」を深め明日への活力を養うため、8地域の保養施設を宿泊利用する者に補助金を交付する市民保養施設利用推進事業を実施など、各種の事業を積極的に行ったことにより、子どもたちの健全育成及び家庭・地域の教育力の活性化に寄与できた。

**ウ 社会教育関係団体の活動が充実するよう支援する・・・・**

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

文化協会、女性の会を始め8団体、2,005人の社会教育関係団体の活動に、補助金を交付したことにより、各団体の自主事業が順調に実施できた。また、各団体と協働して、市民音楽祭や北名古屋市民生誕1周年記念「第九演奏会」、「市民まつり in 北名古屋」東会場を開催し、社会教育の振興が図られた。

**(2) 青少年健全育成の推進**

**ア 次代を担う青少年がのびのびと健やかに成長するよう**

**に、地域社会が一体となって健全育成活動を推進する・・・・**

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

家庭、学校、そして、青少年育成会議、青少年育成運動推進員、少年補導委員などの地域社会が綿密な連携を図って、西春駅での啓発活動や各小・中学校でのあいさつ運動・声かけ見送り運動、新入学児童下校時のセーフティパトロール、善行少年の表彰、小・中学生のポスター・標語の表彰等を行い、青少年の非行防止、健全育成を図ることができた。

**イ 青少年団体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・**

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、師勝少年少女合唱団や西春少年少女合唱団の青少年団体に補助金を交付し、団体の円滑な運営・支援を推進することができた。

### (3) 生涯学習の充実

#### ア 各種講座の充実を図り、生涯学習に関する情報や資料の提供を積極的に推進する・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

市民の学習意欲の向上を図るとともに、地域に密着した文化振興活動の発展に向けた生涯学習講座（１４講座）や名古屋芸術大学の生涯学習大学公開講座（２５講座）との連携など、各種講座を計画的に行うことができた。また、生涯学習活動の拠点である東公民館では、４６，００１人、文化勤労会館では、１２１，１５５人の利用があり、市民の身近な学習・交流の場として、生涯学習活動を支援することができた。

#### イ 生涯学習情報誌を全戸配布し、市民の生涯学習意識の高揚を図る・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

年齢や性別などにとらわれず、より多くの人が生涯学習に参加できるよう、本市全体の総括的な生涯学習の情報を掲載した情報誌を全世帯に配布したことにより、市民により多くの学習機会を提供することができた。

#### ウ 各種講座の修了者に働きかけて、自主サークル結成を促し、地域連帯意識の醸成を図る・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

講座修了後、受講者に対し自主活動ができる環境づくり等を進め、２つのサークルが結成された。（ハーモニカ、和紙ちぎり絵）

### (4) 図書館の充実

#### ア 市民の文化、生涯学習の場となる図書館にする・・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

２つの図書館で２７０，２７５冊の図書資料、１４，９３６点の視聴覚資料をそろえ、１５７，９８８人への貸出をした。また、年間５２０，１７９人が入館され、市民１人当たりでは、６回の利用があり、文化・生涯学習の場となった。

#### イ 利用者から求められた資料は、すみやかに提供する・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

館内ＯＰＡＣ（蔵書検索端末）を利用した利用者からの資料要求、利用者からの相談には専門的知識や資料検索を活用して的確に対応した。所蔵のない資料は、購入又は相互貸借により、愛知県図書館を始め県内の図書館等から借用して提供した。

| リクエストにより購入 | 相互貸借       |            |
|------------|------------|------------|
|            | 愛知県図書館から借用 | その他図書館から借用 |
| 1,199 冊    | 515 冊      | 1,419 冊    |

ウ 児童と本を結びつけ、読書の喜びを提供する・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

保育園・幼稚園・小学校からの図書館見学を通して、図書館の利用の仕方を説明し、本に親しみを持ってもらった。0歳から12歳までの図書利用券発行者数は、5,091人で全体の8.3%となっている。児童書の蔵書数は、次のとおりである。

| 絵本       | 紙芝居     | 文学       | その他      | 合計       |
|----------|---------|----------|----------|----------|
| 27,797 冊 | 1,596 冊 | 26,909 冊 | 30,640 冊 | 86,942 冊 |

また、445人の10か月児健診時に絵本の読み聞かせをして、絵本をプレゼントした。

(5) 歴史民俗資料館の充実

ア 特別展・企画展の充実を図り、資料の公開を積極的に推進する・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

歴史民俗資料館には、年間40,069人の入館があり、特に特別展には11,482人が、2回の企画展には18,626人が来館され、歴史・民俗に関わる情報を提供することができた。また、北名古屋市の歴史、文化財を展示するコーナーを併設し、地域情報の発信ができた。そのほか、全国6つの博物館等に展示協力をした。

イ 貴重な文化財を後世に伝えていくことの大切さを広く伝えることにより文化財保護を推進する・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

42件の指定文化財の修理・管理に対して1,557千円の補助を行い、文化財保護に努めた。また、小学校5～6年生26人で構成する文化財愛護少年団の活動を通じて、次世代の保護者の育成を図った。

ウ 回想法を用いて高齢者のケア、介護予防事業に取り組む・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

高齢者施設利用者等に「昭和日常博物館」の見学を促進、歴史民俗資料館所蔵の資料の貸出しなどにより、回想法の一翼を担った。また、旧加藤家住宅と併設された回想法センターには、7,209人の来館者があった。

Ⅲ スポーツグループ

(1) ふれあいスポーツクラブの活動の充実

ア 既存スポーツクラブの活動内容の充実と新スポーツクラブの新設・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

鴨田、西春、白木、五条、栗島スポーツクラブの常時活動を充実した。年間延べ約35,000人がスポーツに親しんだ。平成20年3月9日に新たに東スポーツクラブが設立された。

イ 1日型のイベントは各小中学校に協力を依頼し、地域と学校が連携しながら展開する・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

1日型のイベントは各小中学校の協力を得て、地域と学校が連携しながら展開した。

ウ 地域住民や学校を始め各種団体へのスポーツ広報活動を展開する・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

チラシ、ポスター及びパンフレットを作成し配布し、地域住民や学校をはじめ各種団体への広報活動を行い、啓発をした。

エ 学社連携事業として、小学校とスポーツクラブ合同運動会を実施する・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

5小学校区で小学校とスポーツクラブの合同運動会を実施した。各学校及びスポーツクラブが趣向を凝らした種目を設定し、好評であった。

オ 子ども水中運動くらぶを開催する・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | B |
|----|---|

地元民間スポーツクラブの水泳インストラクターと、地元高等学校の生徒の協力を得て「子ども水中運動くらぶ」を開催した。6日間、10回、273人が参加した。  
今後は、市内全域での開催に向けて努力したい。

(2) スポーツ指導者の募集と養成

ア 体育指導委員・スポーツ振興委員の研修・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

体育指導委員は、東海四県体育指導委員研究会、県、愛日、西春日井体育指導委員の研修会に参加し、スポーツ振興委員は、スポーツ指導者養成講習会に参加した。

体育指導委員、スポーツ振興委員の役割や実技指導の知識や技能を習得し、指導力向上を図った。

イ ボランティアスポーツ・レクリエーション指導者の募集と派遣制度の確立を図る・・・・・・・・・・

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

ボランティアスポーツ・レクリエーション指導者を幅広く募集し、運動部活動活性化実践研究事業として指導者を学校部活動（剣道・ソフトテニス）に派遣した。

ウ 登録指導者の資質向上を図るため研修会を実施する・・・  
登録指導者の資質向上を図るためスポーツ指導者養成  
講習会などの研修会を実施した。

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

(3) 市民体育祭・講習会等を組織的かつ継続的に開催し、  
スポーツ・レクリエーションに対する意識の高揚を図る・・・  
市民体育祭・レクリエーション指導者講習会・親子水泳

|    |   |
|----|---|
| 評価 | A |
|----|---|

教室、少年・少女バスケットボール教室を組織的かつ継続的に開催し、市民のスポーツ・レクリエーションに対する意識の高揚を図ることができた。

(4) 地域スポーツの振興の支援・奨励・・・・・・・・・・・・・・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

地域スポーツの振興のため、体育協会加盟スポーツ団体  
等の指導育成、情報提供及び各種スポーツ大会（スポーツ祭、北なごや新春チャレン  
ジマラソンなど）の行事を支援・奨励し、多くの市民の参加のもと開催された。

(5) 体育施設の有効利用を図る・・・・・・・・・・・・・・・・

|    |    |
|----|----|
| 評価 | AA |
|----|----|

気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができる体育施  
設の有効利用を図った。とりわけ、学校体育施設が、地域住民のスポーツ活動の拠点  
施設として機能を果たしていることを考慮し、市内の全小中学校16校を休日及び平  
日の夜間に開放した。大人から小人までさまざまな人たちがスポーツ・レクリエーシ  
ョン活動に利用し、施設の有効活用を図ることができた。また、地域に密着し、地域  
住民が年齢、目的に応じて活動する地域スポーツクラブの活動拠点として活用する場  
を提供することができた。

資 料

## 小・中学校評価書

# 平成19年度 師勝小学校 評価書

## <自己評価書>

|             |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>「師勝」にこめられた「先人に学び、先人をを超える」という伝統と、校訓の「正しく(知)・強く(体)・仲よく(徳)」を基盤とし、調和のとれた人間形成をめざす。</p> <p>◎ めざす児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深く考え、進んで自ら学ぶ態度や習慣を身につけた子</li> <li>・いのちを尊び、心やからだを鍛え、たくましく生き抜く子</li> <li>・礼節を重んじ、仲よく、心豊かな生活のできる子</li> </ul> |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策           | 達成率   | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|---------------------|-------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数を上回って授業を行った学級数 | 全学級   | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合  | 52.9% | C    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 少人数指導やTT指導の実施       | ○     | B    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画の作成、実施        | ○     | A    |
|                       |                                 | 教育相談の実施             | 年3回   |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラー、通級担当との連携 | ○     |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会の開催     | 月1回   | A    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画の作成           | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に沿った訓練等の実施    | ○     |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画の作成           | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に沿った訓練等の実施    | ○     |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画の作成、健康教育の実施   | ○     | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組み      | ○     |      |
| 特別支援<br>教 育           | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会の実施回数        | 年4回   | B    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の学年平均時間数／週  | 9時間   |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画の作成、実施        | ○     | B    |
|                       |                                 | 授業研究の実施回数           | 18回   |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数         | 3回    | B    |
|                       |                                 | PTA実行委員会の実施回数       | 6回    |      |
|                       |                                 | ホームページの開設           | ○     |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週      | 21時間  | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施状況      | 月1回   | A    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数   | 5回    |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数／週当たり(平均)   | 4日    | A    |

## <外部評価書>

平成20年3月13日(木)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

- ・ 各評価項目については概ね達成されているが、中でも達成率が不十分と思われる項目は、今後の検討課題として努力してほしい。
- ・ いじめ防止への取り組みについて、実態調査、教育相談が定期的に実施されており、いじめの抑止力として効果が大きいと思われるので、今後も継続した取り組みをお願いしたい。
- ・ 日々の教育活動が充実しており、継続した取り組みを望む。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- ・ 最近の風潮から鑑みれば、教師と保護者の軋轢は親側に起因する点が多いと思われる。学校側は、常に最善を尽くしている事実を毅然とした態度で示せばよいと思う。
- ・ いじめ・不登校などの対応に学校が一体となって取り組まれているが、今後も複数の先生で関わって対処していただきたい。
- ・ 児童の家庭内DVへの対応もおこたりのない様をお願いしたい。

## <学校の対応>

平成20年3月17日(月)

### 外部評価書に対して

- ・ 児童、保護者の評価項目については次年度も検討していく必要がある。評価委員会を実施して対処したい。
- ・ 保護者・地域住民等との連携で、情報提供の不備がまだ指摘されているので検討していきたい。
- ・ 学校関係者、保護者の意見については真摯に受け止め、今年度の教育活動を見直し、来年度に備えたい。

# 平成19年度 西春小学校 評価書

## <自己評価書>

|             |                                                                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | ○ 思いやり深く、感謝と奉仕のできる子<br>○ よく見、よく聞き、よく考える子<br>○ 礼儀正しく、きまりを守る子<br>○ 強い心と体をもち、やりとげる子 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策                | 状 況  | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 6学年  | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 73%  | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 基礎・基本の確実な定着を図っている。       | ○    | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○    | A    |
|                       |                                 | 教育相談を実施した                | ○    |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラーを配置した          | ○    |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○    | B    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画を作成した              | ○    | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○    |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画を作成した              | ○    | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○    |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況           | 危機管理マニュアルを作成した           | ○    | B    |
|                       |                                 | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | △    |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○    | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○    |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 特別支援教育委員会の実施回数           | 4回   | A    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数／週         | 7時間  |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○    | B    |
|                       |                                 | 授業研究の回数                  | 5回   |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数              | 1回   | B    |
|                       |                                 | PTA委員会の実施回数              | 6回   |      |
|                       |                                 | ホームページを開設した              | ○    |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週           | 21時間 | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施回数           | 11回  | A    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5回   |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)／週           | 4日   | A    |

## <外部評価書>

平成20年3月24日(月)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

おおむね達成され、良好な運営がされています。いじめや不登校児童がなくなるようさらなる努力を求めます。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

人はほめられ感謝されるとき成長します。異年齢交流活動などのピアサポートプログラムの取り組みに期待します。道徳教育の充実を進めてほしい。特にあいさつ・清掃など基本的な生活習慣がしっかり身に付くような指導をお願いしたい。登下校時のあいさつは分団によって差が大きい。高学年の気持ち次第で変わると思うので学校での指導に期待します。

## <学校の対応>

平成20年3月25日(火)

### 外部評価書に対して

来年度の教育目標を「思いやりの心を持って、気づき、考え、実行できる子」を育てることにし、ピアサポートプログラムに従って、学級活動、集会活動、道徳の時間、様々な行事において、ふれあい活動に積極的に取り組んでいく。児童会や生徒指導部会を中心に、「あいさつ・廊下歩行・清掃活動」がしっかりできるように年間を通して取り組む。朝の学習や家庭学習または居残り学習において基礎学力の定着のために継続的系統的な反復練習に取り組む。授業においては、「学び合い・高め合い」をテーマに教師の授業力アップに努めたい。

# 平成19年度 師勝南小学校 評価書

## <自己評価書>

| 学校教育<br>目 標           | 自ら考え、正しく判断し、友を大切にして、元気にたくましく生きる児童の育成 |                          |          |      |
|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------|----------|------|
| 項 目                   | 指 標                                  | 具 体 的 方 策                | 状 況      | 自己評価 |
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                              | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 6学年      | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                       | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 70.3%    | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                         | 少人数指導やTT指導を行った           | ○        | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)             | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○        | A    |
|                       |                                      | 教育相談を実施した                | 3回       |      |
|                       |                                      | スクールカウンセラーを配置した          | ○        |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                       | いじめに関する実態調査を実施した(校内)     | ○        | B    |
|                       |                                      | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | 毎月1回     |      |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                       | 学校安全計画を作成した              | ○        | B    |
|                       |                                      | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○        |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                       | 学校防災計画を作成した              | ○        | A    |
|                       |                                      | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○        |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                | 危機管理マニュアルを作成した           | ○        | B    |
|                       |                                      | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○        |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況        | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○        | A    |
|                       |                                      | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○        |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況       | 就学指導委員会等の実施回数            | 3回       | A    |
|                       |                                      | 交流及び共同学習の平均時間数/週         | 2.2時間    |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況                | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○        | B    |
|                       |                                      | 授業研究の回数                  | 6回       |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況      | 学校評議員会の実施回数              | 2回       | B    |
|                       |                                      | PTA委員会の実施回数              | 6回       |      |
|                       |                                      | ホームページを開設した              | ○        |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                       | コンピュータ室の割当て時間/週          | 1.5/h(組) | B    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                       | 教員による安全点検の実施回数           | 11回      | A    |
|                       |                                      | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5回       |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                               | 部活動の活動日数(平均)/週           | 4日       | B    |

## <外部評価書>

平成20年3月3日(月)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

- ・ 就学指導に関して、特別支援教室に入級する場合の保護者へのアプローチについて
- ・ 学習の理解において、理解の早い子、意欲的な子への指導について

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- ・ 挨拶について・・・こちら(評議員)から挨拶すると返してくれるので、良好である。
- ・ クラスの状況について・・・落ち着きのないクラスの状況はどうか

## <学校の対応>

平成20年3月10日(月)

### 外部評価書に対して

- ・ 児童に応じた指導をすることへの理解を図りながら、就学指導を行っていく。
- ・ 少人数・TTの指導を行う中で、発展的な学習も進めており、当面、この指導方法でやりたいと考えている。
- ・ 挨拶については、引き続き指導を行い、気持ちのよい挨拶が学校の活性化や安定的な生活に結び付くようにしたい。学級の状況については、担任・学校とも全力を尽くしており、状況は少しずつ改善されている。

# 平成19年度 五条小学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年3月19日現在)

|        |                                                                                 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | ○ 命を尊び、心や体を鍛え、がんばりのきく子<br>○ 旺盛な探究心と創造力をもち、進んで学習する子<br>○ 豊かな情操と人間愛にあふれた、思いやりのある子 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策                | 状 況    | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|--------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 全学年    | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 71.0%  | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 少人数指導やTT指導を行った           | ○(全学年) | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○      | A    |
|                       |                                 | 教育相談を実施した                | ○      |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラーを配置した          | ○      |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○      | A    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画を作成した              | ○      | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○      |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画を作成した              | ○      | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○      |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用状況               | 危機管理マニュアルを作成した           | ○      | A    |
|                       |                                 | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○      |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○      | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○      |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の実施回数            | 3回     | A    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数/週         | 15時間以上 |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○      | A    |
|                       |                                 | 授業研究の回数                  | 4回     |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数              | 3回     | B    |
|                       |                                 | PTA委員会の実施回数              | 6回     |      |
|                       |                                 | ホームページを開設した              | ○      |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間/週           | 24時間   | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施回数           | 12回    | A    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5回     |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)/週           | 4回     | A    |

## ＜外部評価書＞

平成20年2月7日(木)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

達成状況及び取組みの状況を詳しく説明を受け、概ね満足のいく結果であった。ピースメソッドによる調査分析を基に、子どもたちの教育環境の整備を更に充実させていただきたい。学力的には文章を読み取る力がやや弱いようです。また、基礎的な計算力の定着に力をいれ、学習内容の定着を図っていただきたい。体力低下が懸念される。基礎体力の向上の手立てを検討していただきたい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

学校と保護者、地域が教育活動に対して共通理解を深め、連携できる機会をできるだけ多く設定していただきたい。

## ＜学校の対応＞

平成20年3月21日(金)

### 外部評価書に対して

子どもたちに自己肯定感を高め、自分を表現できる場や機会を増やし、一人一人の子どもたちにとって居場所のある学級づくり、学校づくりを進めていきたい。また、業前の「五条っ子」タイムを活用して読書活動や読み聞かせを進め、いろいろな文章に触れる機会を増やすとともに「音読」を大切にしたい指導方法を工夫したり、基礎的な言語力を育てるために漢字、計算等の反復練習に努める。さらに全ての教科において書くことを重視し、言語力に支えられた思考力を伸ばしていきたい。体力の低下については発育段階に応じたバランスのとれた力をつけることが大切である。運動する機会を確保し、遊具や「なわとび」を使った運動など年間を通して取り組んでいきたい。また保護者、地域との連携・協力体制の充実を図っていきたい。

# 平成19年度 鴨田小学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年3月11日現在)

|        |                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | よく考え、ねばり強く活動し、豊かな心を持つ子<br>○ よく考え、目標を持ってよりよく行動し、努力する子<br>○ 子ども一人ひとりの心に目を向け、耳を傾け、支援する教師<br>○ 子どもにとっていきがいのある学校、地域に開かれた学校 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策                | 状 況   | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|-------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 6     | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 61.1% | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 少人数指導やTT指導を行った学級の割合      | 100%  | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 教育相談を実施した                | ○     |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラーを配置した          | ○     |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○     | B    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用状況               | 危機管理マニュアルを作成した           | ○     | A    |
|                       |                                 | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○     |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○     |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の実施回数            | 4     | A    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数／週         | 5     |      |
| 研修                    | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 授業研究の回数                  | 7     |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数              | 1     | B    |
|                       |                                 | PTA委員会の実施回数              | 5     |      |
|                       |                                 | ホームページを開設した              | ○     |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週           | 5     | C    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施回数           | 1／週   | B    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5／年   |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)／週           | 4     | A    |

## <外部評価書>

平成20年3月11日(火)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

全般的に取組の状況は良好で、取組は適切である。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

地域のいろいろな方が授業参観に来ている。まさに、開かれた学校という感じがする。地域の回覧板で学校行事の案内をすることは、よいことだと思う。

学校に理解があり、協力的な地域なので、現在も取り組んでいる外部講師として地域の人を招いた地域の特色を生かした学習をもっと推進していけるとよい。

PTA会長の在任期間が1年間だけだと、学校の様子が変わってきたときに任期終了という事になってしまう。1年間PTA副会長として学校に関わった後に、次年度PTA会長をすともっと幅広いPTA活動ができると思う。

## <学校の対応>

平成20年3月24日(月)

### 外部評価書に対して、

授業参観については、引き続き地域の方に案内をしていくとともに、学校の様子を地域の方に知ってもらうための方策について、検討していく。

生活科の町探検や3,4年生社会科での地域学習、総合的な学習の中で、地域の方を外部講師として招聘し、地域を知り地域を愛する子どもの育成を進めていきたい。

PTA会長を引き受けていただく方の負担の大きさを考えると、現状の1年間だけPTA会長として務めていただくスタイルがよいと考える。PTA会長として十分に力を発揮していただくために、いっそう学校の様子を伝えたり、意見交換をしたりして意思の疎通に努めていきたい。

# 平成19年度 師勝北小学校 評価書

## <自己評価書>

(平成20年3月21日現在)

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | <p>本校の教育目標    たくましく、心豊かで、実践力のある子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが安心して学び、安全に生活できる環境づくりを進める。</li> <li>○ きめ細かな指導による児童一人一人の個性の伸長と基礎学力の習熟を図る。</li> <li>○ 校内外の研修を通し、教育職員としての資質・力量の向上を図る。</li> <li>○ 家庭・地域への情報発信に努めるとともに、その教育力を活用した地域に根ざした開かれた学校をめざす。</li> </ul> |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策              | 状 況   | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|------------------------|-------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数    | 全学年   | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合     | 73%   | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 少人数指導やTT指導を効果的に実施した    | ○     | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画を作成し、実施した        | ○     | A    |
|                       |                                 | 教育相談を実施した              | ○     |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラーの活用を図った      | ○     |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会の年間実施回数    | 3回    | A    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画を作成した            | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に従って実地指導等を行った    | ○     |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画を作成した            | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に従って避難訓練等を実施した   | ○     |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用状況               | 危機管理マニュアルを作成した         | ○     | B    |
|                       |                                 | 危機管理マニュアルに従って実地訓練等を行った | ○     |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成した            | ○     | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組みをした      | ○     |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の年間実施回数        | 3回    | A    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数／週       | 6時間／人 |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した        | ○     | A    |
|                       |                                 | 授業研究の年間実施回数            | 7回    |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の年間実施回数          | 個別に随時 | B    |
|                       |                                 | PTA委員会の年間実施回数          | 6回    |      |
|                       |                                 | ホームページを開設し、学校の情報発信に努めた | ○     |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週         | 14時間  | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の月実施回数        | 1回    | A    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数      | 5回    |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)／週         | 5日    | A    |

## <外部評価書>

平成20年3月24日(月)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

各項目の指標が概ね達成されていると思われる。いじめなどのメンタルな問題も含め、全体的に先生方の児童に対する細やかな配慮や熱意を評価する。

いじめ・不登校といったマイナスイメージに繋がり易い問題点についても明らかにされ、正しく評価されていると思う。

保護者・地域住民との連携に関わって、クリーン・ボランティアやブック・ママ、地域パトロール隊などのボランティア活動への学校の開放・協力体制は、高く評価できると思う。

保護者や地域住民との連携を一層図っていく活動を増やしていただきたい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

保護者や地域住民の協力をあおぎ、スクールガードの体制強化をお願いしたい。

「問題解決的学習」をもっと発展させていくことは重要な課題の一つであると考え。児童が壁に直面したとき、そこで粘り強く自己解決できる思考力を備えることが、本人の人間の成長を促す。

「心の教育」については、もっと他者への理解を深められるようなトータルな人間形成のための基盤づくりをお願いしたい。

## <学校の対応>

平成20年3月25日(火)

### 外部評価書に対して

いじめに関しては、心の教育推進とともに、全校体制で計画的な取り組みを展開し、その根絶に向けて一層力を入れて取り組んでいきたい。

保護者や地域住民との連携に関しては、より多くの地域の支援をお願いしながら、地域に根ざした学校として発展させていきたいと考えている。

改訂が予定されている新しい学習指導要領においても、その基本理念は「生きる力」を育むことにある。自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成に努めていきたいと考えている。

# 平成19年度 師勝東小学校 評価書

<自己評価書>

平成19年12月24日

|             |                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | 〈めざす児童の姿〉 知・徳・体の調和のとれた児童(勉強をがんばり、基礎・基本を身に付けた子、やさしさを持ち、あいさつのできる子、健康で、安全に気をつける子)<br>〈目指す教師の姿〉 率先垂範する教師<br>〈めざす学校の姿〉 児童・保護者・地域から信頼される学校 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                            | 具 体 的 方 策                 | 状 況  | 自己評価 |
|-----------------------|--------------------------------|---------------------------|------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 勉強をがんばる子の育成状況                  | 少人数指導やTT指導を行った            | ○    | B    |
|                       |                                | 予定時数より多く授業を行った学級数(16学級中)  | 16   |      |
|                       |                                | 「勉強をがんばった」と答えた児童の割合       | 88%  |      |
|                       |                                | 「授業がわかった」と答えた児童の割合        | 88%  |      |
|                       | 読み・書き・計算の習得状況                  | 朝の読書を実施した                 | ○    | B    |
|                       |                                | 個別指導(夏季休業中)を実施した          | ○    |      |
|                       |                                | 漢字コンクール(80点以上の割合)         | 89%  |      |
|                       |                                | 計算コンクール(80点以上の割合)         | 87%  |      |
|                       | やさしさをもった子の育成状況                 | 異学年や高齢者とのふれあい活動を実施した      | ○    | A    |
|                       |                                | 一人一鉢栽培を実施した学年数            | 6    |      |
|                       |                                | よいことさがしを実施した学級数(16学級中)    | 16   |      |
|                       |                                | 道徳の授業を予定時数以上、行った学級(16学級中) | 13   |      |
|                       | 健康な子の育成状況                      | 「友達にやさしくできた」と答えた児童の割合     | 90%  | A    |
|                       |                                | 外遊びを奨励した(1日に2回外で遊ぶ)       | ○    |      |
|                       |                                | 早寝・早起き・朝ごはんの調査と指導を行った     | ○    |      |
|                       |                                | 栄養士を招いて栄養指導を実施した          | ○    |      |
|                       |                                | 生活リズムの乱れによる保健室来室者数(一日平均)  | 1.2人 |      |
|                       |                                | 病気による欠席数(1日平均、出席停止を除く)    | 6.3人 |      |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)       | 生徒指導計画を作成し、実施した           | ○    | A    |
|                       |                                | 教育相談の実施回数                 | 2    |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                 | いじめ・不登校対策委員会の実施回数         | 8    | A    |
|                       | あいさつのできる子の育成状況                 | あいさつ運動の実施回数               | 2    | B    |
|                       |                                | 「あいさつができた」と答えた児童の割合       | 84%  |      |
| 安全管理                  | 安全に気をつける子の育成状況                 | 学校安全計画を作成した               | ○    | B    |
|                       |                                | 交通安全教室を実施した               | ○    |      |
|                       |                                | 下校時に交通安全指導を行った            | ○    |      |
|                       |                                | 交通事故の件数                   | 0    |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                 | 学校防災計画を作成した               | ○    | B    |
|                       |                                | 避難訓練の実施回数                 | 2    |      |
| 保健管理                  | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況          | 不審者対応マニュアルを作成した           | ○    | B    |
|                       |                                | 付添い下校(1～3年)と見守りを実施した      | ○    |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況                 | 学校保健計画を作成し、実施した           | ○    | B    |
|                       |                                | 健康観察と傷病予防の取り組みをした         | ○    |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況 | 就学指導委員会等の実施回数             | 2    | B    |
|                       |                                | 特別支援教育委員会の実施回数            | 2    |      |
|                       |                                | 交流及び共同学習の平均時間数/週          | 2.5  |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況          | 現職教育計画を作成し、実施した           | ○    | B    |
|                       |                                | 授業研究の回数                   | 4    |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の状況               | 学校評議員会の実施回数               | 1    | B    |
|                       |                                | PTA委員会の実施回数               | 3    |      |
|                       | 情報提供の実施状況                      | 教育課程説明会を実施した              | ○    | B    |
|                       |                                | ホームページの更新を行った(月1回)        | ○    |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                 | コンピュータ室の利用時間(平均)/週        | 1.13 | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                 | 教員による安全点検を実施した(月1回)       | ○    | B    |
|                       |                                | 業者による遊具・体育設備を点検した(年5回)    | ○    |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                         | 部活動の活動日数(平均)/週            | 3    | B    |

## <外部評価書>

平成20年1月25日(金)

自己評価書に対して、

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

○基礎・基本の徹底・・・授業についてこれない児童を授業時間外で指導できないか。

○食育指導・・・朝食を食べてこないと元気がなく、頭の回転も悪くなる。朝食の大切さを保護者に働きかけたらどうか。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

○地域との連携・・・地域の防災訓練に児童を参加させるなど、地域の人との交流を行ったらどうか。

○交通安全・・・交通ルールの細かいところを守れていない。登下校の時並んで歩けていない。

## <学校の対応>

平成20年3月24日(月)

自己評価書・外部評価書に対して、

○基礎・基本の徹底

- ・ 算数では、全学年で個に応じたきめ細かな指導としてTT・少人数指導を実施し、基礎・基本の定着が図れた。
- ・ 東小タイムでは、朝の読書を実施し、読書に親しむ児童が増えた。
- ・ 漢字・計算については、家庭学習として毎日、読み・書き・計算の課題を与えたり、毎学期コンクールを実施したりし、漢字と計算の力がついた。
- ・ 漢字・計算の苦手な子どもには、放課や授業後、夏休み中に個別指導を行い、どの子にも分かる喜びを実感させることができた。

来年度は、さらに個別指導の機会を増やしたい。

○やさしい心の育成

- ・ 毎週金曜日に、異学年交流の児童集会を持ち、高学年と低学年のふれあいを持った。やさしさと尊敬の気持ちを育むことができた。
- ・ 道徳の授業を重視し、知識が生きた実践とつながるような授業を行った。
- ・ 帰りの会で、良いこと探しを行うことによって、温かな雰囲気を作り出すことができた。

上記の三つの活動等を通して、やさしい心が育成され、いじめの減少につながった。さらに、やさしさの輪を広げるため 努力していきたい。

○健康・食育指導

- ・ 家庭教育学級や親子ふれあい給食を開催し、栄養士さんから朝食の大切さを保護者に話してもらった。
- ・ 体育授業で運動の楽しさを味わわせるとともに、外遊びを奨励した。
- ・ 長期休業中にハッピーチェックカードを児童に配布し、生活リズムの確保に努めた。

上記の三つの活動等により、欠席者数が減少した。

○交通安全

- ・ 交通ルールについては、継続して指導を行ってきた。今後はさらに、交通安全指導の充実を図るとともに、家庭での協力もお願いしていきたい。

○地域との連携

- ・ 親子ふれあい学習では地域の方々に講師になっていただき交流を深めた。今後も学校行事や授業に地域の方々に参加してもらう機会を多くしたい。

特に、お年寄りとの交流を深めていきたい。

○学校安全ボランティア活動

- ・ 昨年度よりボランティアの方に低学年の下校に付き添っていただいている。今年度は、さらに家の近くで見守って下さる方も増え少しずつ充実してきた。

今後もボランティアの輪を広げ、児童の安全を守っていきたい。

平成19年度 栗島小学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年3月11日現在)

|             |                                                                                                                                         |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>人間尊重の精神を基本理念とし、心身ともに健康で「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図る。</p> <p>1 基礎・基本の定着と個性を生かす教育の推進</p> <p>2 人権・生命尊重・安全教育の徹底</p> <p>3 地域に根ざした特色ある教育活動の推進</p> |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                             | 具 体 的 方 策                | 状 況   | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|-------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                         | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 6     | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                  | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 30.6% | C    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                    | 少人数指導やTT指導を行った学級の割合      | 100%  | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)        | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 教育相談を実施した                | ○     |      |
|                       |                                 | スクールカウンセラーを配置した          | ○     |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                  | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○     | B    |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                  | 学校安全計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                  | 学校防災計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                 | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況           | 危機管理マニュアルを作成した           | ○     | A    |
|                       |                                 | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○     |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況及び<br>健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○     |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の実施回数            | 3     | A    |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数／週         | 11    |      |
| 研修                    | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                 | 授業研究の回数                  | 7     |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数              | 2     | B    |
|                       |                                 | PTA委員会の実施回数              | 6／年   |      |
|                       |                                 | ホームページを開設した              | ○     |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週           | 12／週  | A    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施回数           | 1／週   | B    |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5／年   |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)／週           | 5     | A    |

## <外部評価書>

平成20年2月7日(木)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

- ・ 先生方の教育に対する真摯な取り組みは、学校公開日や諸行事に参加してみてよく分かる。児童の安全に関する点検や活動もきちんと行われており安心できた。
- ・ 不登校児もなく、日頃からの指導の成果として感謝している。いじめについては、適切に対応され、継続していないとことで安心した。
- ・ 運動会など、気候に影響される行事の日程に工夫が欲しい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- ・ 公開日ごとに保護者の意見を聞き、改善に努力している姿は評価できるが、あまり一部の意見に左右されることがなく、良いと考えたことを思い切って指導してもよい。
- ・ 保護者・地域住民の学校の活動に対する理解がまだ不足しているので、広報活動をさらに充実して欲しい。

## <学校の対応>

平成20年3月10日(月)

### 外部評価書に対して

学校の活動に対する多くの意見を公開日ごとにいただき、できるものから改善に努めていることを理解いただき感謝している。また、学校通信、学年通信、保護者だより等を定期的に発行し、ホームページ等でも広報活動をしているつもりでいたが、まだ不十分との評価を得た。

調査の結果、保護者の半数程度しか情報が伝わっていないことが分かった。連絡メールの登録やホームページへのアクセスをまず広報し、利用者の拡大に努め、保護者・地域住民の理解を深めていきたい。

# 平成19年度 師勝西小学校 評価書

## <自己評価書>

(平成20年1月23日現在)

|        |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | <p>校訓「進んで学ぶ子・心豊かな子・たくましく生きる子」を基に、「生きる力を育む教育」を重視し、以下の3点を目標に『知・徳・体』の調和のとれた人間形成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本を大切にし、深く考え、自ら学ぶ態度や習慣を養う。</li> <li>○ 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。</li> <li>○ いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。</li> </ul> |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項目            | 指標                          | 具体的方策                    | 状況   | 自己評価 |
|---------------|-----------------------------|--------------------------|------|------|
| 教育課程<br>学習指導  | 運動や体力に関する調査の結果              | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 59.5 | C    |
|               | 個に応じた指導の充実状況                | 少人数指導やTT指導を行った           | ○    | A    |
| 生徒指導          | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)    | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○    | A    |
|               |                             | 教育相談を実施した                | ○    |      |
|               |                             | スクールカウンセラーを配置した          | ○    |      |
|               | 問題行動等の状況及び対応状況              | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○    | A    |
| 安全管理          | 学校安全計画の作成・実施状況              | 学校安全計画を作成した              | ○    | A    |
|               |                             | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○    |      |
|               | 学校防災計画の作成・実施状況              | 学校防災計画を作成した              | ○    | A    |
|               |                             | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○    |      |
|               | 危機管理マニュアルの作成・活用状況           | 危機管理マニュアルを作成した           | ○    | B    |
|               |                             | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○    |      |
| 保健管理          | 学校保健計画の作成・実施状況及び健康教育活動の状況   | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○    | A    |
|               |                             | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○    |      |
| 特別支援<br>教育    | 校内支援体制の整備状況及び交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の実施回数            | 3    | A    |
|               |                             | 交流及び共同学習の平均時間数/週         | 8.3  |      |
| 研 修           | 校内研修の実施体制の整備・実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○    | B    |
|               |                             | 授業研究の回数                  | 4    |      |
| 保護者・地域住民等との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数              | 1    | B    |
|               |                             | PTA委員会の実施回数              | 5    |      |
|               |                             | ホームページを開設した              | ○    |      |
| 施設・設備         | 施設・設備の効果的な活用状況              | コンピュータ室の利用時間/週           | 23   | A    |
|               | 施設・設備の点検等の実施状況              | 教員による安全点検の実施回数           | 8    | A    |
|               |                             | 業者による遊具・体育設備の点検回数        | 5    |      |
| 部活動の状況        | 部活動の状況                      | 部活動の活動日数(平均)/週           | 4    | B    |

## <外部評価書>

平成20年1月28日(月)

自己評価書に対して、

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

全体にきめ細かく学校経営がなされている。学校だより(アンケート)は1つの方針を出せるので、すばらしいと思う。特に親のマナーについて、親が感想を述べているのはプラスに働いていてよいことだと思う。今後もきめ細かく実施して欲しい。安全面に気をつけ、体力面の低下傾向に歯止めをかけるようにして欲しい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

来年度の耐震工事の際は窓のサッシのコーキング切れをチェックしてもらうように。ガス漏れ、水漏れは予算の無駄遣いのため早く補修をするように依頼をするように。ボランティアの募集がなされていたが、教師と保護者・地域の方との対応が大事である。幼稚園・保育園と小学校の連携、小学校と中学校の連携は追跡調査を行ってこそ問題点がはっきりし、学校教育の成果をあげることになる。ぜひ取り組んで欲しい。

## <学校の対応>

平成20年2月4日(月)

外部評価書に対して、

(見解と対応)

保護者の意見は、今後も学校だよりに掲載して、保護者の意識の啓発に役立てていきたい。耐震工事の内容については、老朽化した施設が残らないように市当局と綿密な打合せをしながら進めていく予定である。正規の保育園・幼稚園と小学校の連絡打合せの機会は設けられていないため、小学校からの保育園や幼稚園への聞き取り調査にとどまっているため、協議できる機会を設けるように働きかけていきたい。

平成19年度 白木小学校 評価書

| 学校教育目標       | 「学び合う子」「認め合う子」「鍛え合う子」      |                                                        |     |      |
|--------------|----------------------------|--------------------------------------------------------|-----|------|
| 項 目          | 指 標                        | 具 体 的 方 策                                              | 状 況 | 自己評価 |
| 重点努力目標       | 学び合う子の育成(確かな学力)            | 気づきを大切にし、みんなで学び、みんなから学ぶ姿勢を養いながら、楽しさや成就感が体得できる授業づくりに努めた | ○   | B    |
|              | 認め合う子の育成(豊かな人間性)           | 自分を大切にし、他を尊重する気持ちを育てながら、集団を意識した道德教育・学級活動の推進に努めた        | ○   | A    |
|              | 鍛え合う子の育成(健康・体力)            | 夢に向かって、相互に励まし合い、がんばり抜く力を育成するよう努めた                      | ○   | B    |
| 教育課程<br>学習指導 | 授業の実施状況                    | 予定時間数を確保するために、計画的に授業を進めた                               | ○   | B    |
|              | 運動や体力に関する調査の結果             | 児童の運動能力を考えながら、体力づくりに努めた                                | ○   | B    |
|              | 個に応じた指導の充実状況               | 少人数指導やT・T指導、また、個に応じた指導を通して基礎基本の定着を図るように努めた             | ○   | B    |
|              | 授業への取り組み状況                 | 児童の学ぶ喜びを高める工夫をして授業に取り組んだ                               | ○   | A    |
|              |                            | 各教科の基礎・基本を意識して授業に取り組んだ                                 | ○   |      |
|              |                            | 「道德」について、時間確保と内容の充実に努力してきた                             | ○   |      |
| 生徒指導         | 生徒指導体制の整備状況(心のケアを含む)       | 生徒指導計画を作成し、実施した                                        | ○   | B    |
|              |                            | 教育相談を実施し、児童とのコミュニケーションを図る努力をした                         | ○   |      |
|              |                            | スクールカウンセラーと連携を図りながら児童理解に努めた(担当クラス内で)                   | ○   |      |
|              | 問題行動等の状況及び対応状況             | いじめ・不登校対策委員会を開催した                                      | 月1回 | A    |
|              |                            | 「生徒指導」における問題点を共通理解し、日常的に指導してきた                         | ○   |      |
|              |                            | 学級で問題があれば、学年や学校全体と連携して対処してきた                           | ○   |      |
| 安全管理         | 学校安全計画の作成・実施状況             | 学校安全計画を作成し、児童の安全確保に努めた                                 | ○   | A    |
|              |                            | 学校安全計画に従って実地訓練等をし、安全意識に努めた                             | ○   |      |
|              | 学校防災計画の作成・実施状況             | 学校防災計画を作成し、児童の安全確保に努めた                                 | ○   | B    |
|              |                            | 学校防災計画に従って実地訓練等をし、意識の高揚に努めた                            | ○   |      |
|              | 危機管理マニュアルの作成・活用状況          | 危機管理マニュアルを作成し、児童の安全確保に努めた                              | ○   | B    |
|              |                            | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)し、意識の高揚に努めた                      | △   |      |
| 保健管理         | 学校保健計画の作成・実施状況及び健康教育活動の状況  | 学校保健計画に従い、児童の保健指導に努めた                                  | ○   | B    |
|              |                            | 健康観察と傷病予防に取り組むことができた                                   | ○   |      |
|              |                            | 食育の指導に心がけた                                             | △   |      |
| 特別支援教育       | 校内支援体制の整備状況及び交流及び共同学習の実施状況 | 就学指導委員会等の実施回数                                          | 3回  | B    |
|              |                            | 特別支援学級の児童と関わったり、発達障害の疑いのある児童の理解に努めた                    | ○   |      |
| 研 修          | 校内研修の実施体制の整備・実施状況          | 現職教育のねらいを理解し、積極的に取り組むことができた                            | ○   | B    |
|              |                            | 授業研究に取り組み、自己研修に努めた                                     | ○   |      |

|               |                             |                                        |     |   |
|---------------|-----------------------------|----------------------------------------|-----|---|
| 保護者・地域住民等との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数                            | 2回  | A |
|               |                             | PTA委員会の実施回数                            | 5回  |   |
|               |                             | ホームページを開設した                            | ○   |   |
|               |                             | 学校公開日には日ごろの指導姿勢が伝わるように取り組んできた          | ○   |   |
|               |                             | 学年便りや懇談会等で、学校の考えや自分の考えを積極的に発信してきた      | ○   |   |
| 施設・設備         | 施設・設備の効果的な活用状況              | 情報教育指導計画に基づき、コンピュータ指導のために、コンピュータ室を利用した | ○   | B |
|               |                             | 図書室や資料室等を学習情報を得る場として利用した               | ○   |   |
|               |                             | 効果的な学習指導を行うために、積極的にコンピュータを活用した         | ○   |   |
|               | 施設・設備の点検等の実施状況              | 教員による安全点検の実施回数                         | 月1回 | A |
|               |                             | 業者による遊具・体育設備の点検回数                      | 5回  |   |
| 部活動の状況        | 部活動の状況                      | 部活動の活動日数(平均)／週                         | 4   | A |

〈外部評価書〉

平成20年3月12日(水)

自己評価書に対して

(指標の達成状況や取り組みの状況、取り組みの適切さについて)

- 経験豊かなベテラン教師が退職していく時代になってきた。若い先生をどのように育てていくかが大きな課題になってくると思う。経験の少ない教師に、この自己評価をさせても、無理が出てくるかもしれない。今後の課題になるだろう。
- 昨年度、学校としての分析をお願いしたが、今回は、それぞれの項目等について、分析や学校としての対応について述べてあるのでよくなったと思う。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- 自己評価等の数字(割合)を表記すると、その数字が一人歩きしてしまう心配があるので、取り扱いに十分気をつけてほしい。A・Bを重点的に見るのか、C・Dに視点を置くのかで学校の評価が変わってしまう。
- 開かれた学校ということで、学校の情報を発信することも大切だが、保護者や地域からの情報(子どもの様子)を得る努力もしていく必要がある。
- 学校評価等に関わる情報については、一括管理するシステムを構築し、そのシステムにアクセスすれば、必要な情報を得ることができるようにしたらどうか。
- 食育の指導は、これから大切なものになっていくので、よろしくお願いいたします。

〈学校の対応〉

平成20年3月14日(金)

外部評価書に対して

- 平成18年度と比較したため、それぞれの具体的方策についての教師の意識の変化がよくわかる。
- 「A」から「B」に評価が下がった項目については、何が問題なのか追究していきたい。また、「B」から「A」になった項目については、よい評価として今後も伸ばして生きたい。「A」と評価した項目についても、今後も同じ評価になるように伸ばしていきたい。

## 平成19年度 師勝中学校 評価書

### ＜自己評価書＞

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>校訓「希望に燃えて、強く、正しく、明るく、頑張る生徒」を教育実践の中核となし、知(学んだ力・考える力・学ぶ力)・徳(豊かな人間性)・体(たくましい心身)の調和のとれた人間形成をめざす。</p> <p>＜本年度の重点努力目標＞</p> <p>ア 体験的・問題解決的な学習を通して、学ぶ意欲を高め、主体的な学習の仕方を身につけさせることによって、自ら学び自ら考える力を育てる。</p> <p>イ 生徒一人一人の体力の向上や健康増進に向けた取り組みを進める。</p> <p>ウ お互いに支え合い助け合う心を一人一人の生徒の心の中に根付かせ、いじめのない、いじめを出さない学校をめざす。</p> <p>エ 一人一人の生徒の能力や適性に応じた指導をするとともに、将来を見通した進路の選択ができるよう援助する。</p> <p>オ 豊かな人間性や社会性をはぐくみ、広い視野をもって異文化を理解し、国際協調の精神を培い、国際社会の中で、信頼と尊敬を得る生徒を育成する。</p> |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目          | 指 標                                   | 具 体 的 方 策                | 状 況 | 自己評価 |
|--------------|---------------------------------------|--------------------------|-----|------|
| 教育課程<br>学習指導 | 授業の実施状況                               | 予定した学習内容を修了した学年数         | 3学年 | B    |
|              | 運動や体力に関する調査の結果                        | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 56% | B    |
|              | 個に応じた指導の充実状況                          | 少人数指導やTT指導を行った           | ○   | A    |
| 生徒指導         | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)              | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○   | B    |
|              |                                       | 教育相談を実施した                | ○   |      |
|              |                                       | スクールカウンセラーを配置した          | ○   |      |
|              | 問題行動等の状況及び対応状況                        | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○   | C    |
| 進路指導         | 進路指導体制の整備状況及び<br>進路相談、職場体験学習の<br>実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した          | ○   | B    |
|              |                                       | 進路相談を実施した                | ○   |      |
|              |                                       | 職場体験学習を実施した              | ○   |      |
| 安全管理         | 学校安全計画の作成・実施状況                        | 学校安全計画を作成した              | ○   | B    |
|              |                                       | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○   |      |
|              | 学校防災計画の作成・実施状況                        | 学校防災計画を作成した              | ○   | B    |
|              |                                       | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○   |      |
|              | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                 | 危機管理マニュアルを作成した           | ○   | C    |
|              |                                       | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○   |      |
| 保健管理         | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況         | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○   | B    |
|              |                                       | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○   |      |
| 特別支援<br>教 育  | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況        | 就学指導委員会等の実施回数            | 年1回 | B    |

|               |                             |                   |       |   |
|---------------|-----------------------------|-------------------|-------|---|
| 研 修           | 校内研修の実施体制の整備・実施状況           | 現職教育計画を作成し、実施した   | ○     | B |
|               |                             | 授業研究の回数           | 年9回   |   |
| 保護者・地域住民等との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数       | 年1回   | B |
|               |                             | PTA委員会の実施回数       | 年4回   |   |
|               |                             | ホームページを開設した       | ○     |   |
| 施設・設備         | 施設・設備の効果的な活用状況              | コンピュータ室の利用時間／週    | 0.5時間 | C |
|               | 施設・設備の点検等の実施状況              | 教員による安全点検の実施回数    | 年12回  | A |
|               |                             | 業者による遊具・体育設備の点検回数 | 年5回   |   |
| 部活動の状況        | 部活動の状況                      | 部活動の活動日数(平均)／週    | 週5回   | B |

#### <外部評価書>

平成20年3月19日(水)

#### 自己評価書に対して

|                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>達成状況や取り組みのための活動状況、取り組んでいる内容とも適切に行われていると考える。</li> <li>いじめ・不登校については、学校はよく対応している。大多数が家庭環境による問題が起因していると考えられる。保護者との信頼関係を築くことが大切である。</li> </ul> |
| (その他の学校運営の改善に関する意見など)                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>命を大切にすること、礼儀、感謝など心の教育が大切である。(道徳教育の充実をはかって欲しい)</li> <li>いじめ・不登校については、もっと民生委員を活用して欲しい。</li> </ul>                                           |

#### <学校の対応>

平成20年3月21日(金)

#### 外部評価に対して

|                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>外部評価に対して、全職員に学校評議委員会の内容を知らせ、その結果を受けての対応について校内で協議を行い、共通理解を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校問題は、来年度の大きな課題として捉え、いじめや不登校生徒に対する取り組みを継続していくとともに、「未然防止」について全職員が共通理解し、着実な対応を行う。</li> <li>教育活動全般において心の教育を重視すると共に、道徳の時間が道徳的価値の自覚という点で要となるよう、計画的に実施する。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 平成19年度 西春中学校 評価書

## <自己評価書>

(平成20年2月29日現在)

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>校訓「誠実・勤勉・思いやり・感謝」のもとに、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、自他の敬愛と協力により、人間と自然とが共生する創造的で活力に満ちた社会の発展に尽くす生徒の育成を目指す。</p> <p>ア いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。</p> <p>イ 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う。</p> <p>ウ 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。</p>                                                                                 |
|             | <p>&lt;本年度の重点努力目標&gt;</p> <p>ア 基礎学力の定着を図るとともに、少人数学習やチームティーチングをはじめとする個に応じた指導を展開する。</p> <p>イ 愛と信頼に基づいた共感的人間関係を基盤とする生徒指導に努め、ピース・メソッド(奉仕体験活動)、日本版ピア・サポート(自己有用感の育成)の手法により、いじめ・不登校生徒の克服を図る。</p> <p>ウ 生徒が環境問題について正しい認識をもち、自ら考えて行動できるように、総合的な学習の時間を中心に「環境教育」を推進する。</p> <p>エ ホームページの更新を図り、学校の状況を家庭・地域に積極的に発信する。</p> |

| 項 目          | 指 標                                   | 具 体 的 方 策                | 状 況 | 自己評価 |
|--------------|---------------------------------------|--------------------------|-----|------|
| 教育課程<br>学習指導 | 授業の実施状況                               | 予定した学習内容を修了した学年数         | 3   | A    |
|              | 運動や体力に関する調査の結果                        | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 70% | B    |
|              | 個に応じた指導の充実状況                          | 少人数指導やTT指導を行った           | ○   | A    |
|              |                                       | 必要とする生徒に個別指導を実施した        | ○   | A    |
| 生徒指導         | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)              | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○   | A    |
|              |                                       | 教育相談を実施した                | ○   |      |
|              |                                       | スクールカウンセラーを配置した          | ○   |      |
|              | 問題行動等の状況及び対応状況                        | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○   | B    |
|              |                                       | ピース・メソッド、ピア・サポートの手法を実践した | ○   |      |
| 進路指導         | 進路指導体制の整備状況及び<br>進路相談、職場体験学習の<br>実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した          | ○   | A    |
|              |                                       | 進路相談を実施した                | ○   |      |
|              |                                       | 職場体験学習を実施した              | ○   |      |
| 安全管理         | 学校安全計画の作成・実施状況                        | 学校安全計画を作成した              | ○   | A    |
|              |                                       | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○   |      |
|              | 学校防災計画の作成・実施状況                        | 学校防災計画を作成した              | ○   | A    |
|              |                                       | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○   |      |
|              | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                 | 危機管理マニュアルを作成した           | ○   | A    |
|              |                                       | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○   |      |
| 保健管理         | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況         | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○   | A    |
|              |                                       | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○   |      |

|                       |                                 |                             |        |   |
|-----------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------|---|
| 特別支援<br>教 育           | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況  | 就学指導委員会等の実施回数               | 4回     | A |
|                       |                                 | 交流及び共同学習の平均時間数／週            | 11時間／週 |   |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況           | 「環境教育」を始めとする現職教育計画を作成し、実施した | ○      | A |
|                       |                                 | 授業研究の回数                     | 7回     |   |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況 | 学校評議員会の実施回数                 | 1回     | B |
|                       |                                 | PTA委員会の実施回数                 | 4回     |   |
|                       |                                 | ホームページの更新を前年度以上に行った         | ○      |   |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                  | コンピュータ室の利用時間／週              | 4時間／週  | B |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                  | 教員による安全点検の実施回数              | 4回     | B |
|                       |                                 | 業者による遊具・体育設備の点検回数           | 5回     |   |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                          | 部活動の活動日数(平均)／週              | 4日／週   | A |

#### <外部評価書>

平成20年3月6日(木)

自己評価書に対して、

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年と同様に、学校の素晴らしさを実感している。本当に先生方は、熱心に指導いただいている。先生方は忙しいので、サポートできる方法があれば取り入れてほしい。</li> <li>・ 生徒たちに明確な目標をもたせる指導をさらに望む。</li> <li>・ 悪いことが見られたら、厳しく叱ることは大切なこと。さらに、取り組んでほしい。</li> <li>・ いじめ問題については、これまで以上に親を積極的に巻き込んで解決していく方がよい。</li> <li>・ HPを見ていただけるような工夫がほしい。修学旅行や自然教室の様子をリアルタイムでアップするのも一つの手である。</li> </ul> |
| (その他の学校運営の改善に関する意見など)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコ改修の完了後、学校関係者による訪問が多数あると予想される。その対応のために、本来の教育活動がおろそかにならないよう市教委のバックアップを得られるようにしてほしい。</li> <li>・ PTA活動の活性化の起爆剤になりうる行事、取り組みがある。ぜひ、親子で活動できる場を設けてほしい。そのために、PTAの委員会組織を見直してはどうか。</li> </ul>                                                                                                                 |

#### <学校の対応>

平成20年3月13日(木)

外部評価書に対して、

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年に引き続き、高い評価をいただいた。一方で、今回は、一歩踏み込んで、様々な建設的なご意見をいただいた。これらを生かし、前進を図っていきたい。</li> <li>・ 進路指導については、具体的目標をもたせる指導を展開していく。</li> <li>・ 生徒たちの学習意欲・生活意欲増進のため、魅力ある授業の展開・生徒指導の充実を図りたい。</li> <li>・ いじめを発見した場面では、躊躇することなく保護者との連携の元、指導をしていく。</li> <li>・ HPの地域への公開については、市校長会で平成20年度の課題として取り上げていただけることになった。地域での話題になることを期待したい。また、リアルタイムで情報が発信できるように取り組むように改善したい。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 平成19年度 白木中学校 評価書

## <自己評価書>

(平成20年3月17日現在)

|             |                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>校訓『自律・敬愛・鍛錬』を教育実践の中核とし、知(考える力・学ぶ力)徳(豊かな人間性)体(健全なる身体)の調和のとれた人間形成をめざす。</p> <p>○希求する生徒像</p> <p>知…深く考え、意欲的に学ぶ態度を持ち、状況の変化に主体的に対応できる生徒</p> <p>徳…礼節を重んじ、思いやりを持って他と接し、心豊かに生活できる生徒</p> <p>体…いのちを尊び、自然を愛し、心身ともに健康で逞しく生きる生徒</p> |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目                   | 指 標                                   | 具 体 的 方 策                | 状 況     | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------|---------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                               | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 2学年     | B    |
|                       | 学力の状況                                 | 観点評定3点以上の人数の割合(平均)       | 59.3%   | B    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                        | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 64.1%   | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                          | 少人数指導やTT指導を行った           | ○       | B    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)              | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○       | B    |
|                       |                                       | 教育相談を実施した                | ○       |      |
|                       |                                       | スクールカウンセラーを活用した          | ○       |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                        | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | ○       | B    |
| 進路指導                  | 進路指導体制の整備状況及び<br>進路相談、職場体験学習の<br>実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した          | ○       | A    |
|                       |                                       | 進路相談を実施した                | ○       |      |
|                       |                                       | 職場体験学習を実施した              | ○       |      |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                        | 学校安全計画を作成した              | ○       | B    |
|                       |                                       | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○       |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                        | 学校防災計画を作成した              | ○       | B    |
|                       |                                       | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○       |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                 | 危機管理マニュアルを作成した           | ○       | B    |
|                       |                                       | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○       |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況         | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○       | B    |
|                       |                                       | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○       |      |
| 特別支援<br>教 育           | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況        | 就学指導委員会等の実施回数            | 3回      | B    |
|                       |                                       | 交流及び共同学習の平均時間数/週         | 9.7時間/週 |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況                 | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○       | C    |
|                       |                                       | 授業研究の回数                  | 5回      |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況       | 学校評議員会の実施回数              | 2回      | B    |
|                       |                                       | PTA委員会の実施回数              | 6回      |      |
|                       |                                       | ホームページの更新を前年度以上に行った      | ○       |      |

|        |                |                   |        |   |
|--------|----------------|-------------------|--------|---|
| 施設・設備  | 施設・設備の効果的な活用状況 | コンピュータ室の利用時間／週    | 4時間／週  | C |
|        | 施設・設備の点検等の実施状況 | 教員による安全点検の実施回数    | 11回    | B |
|        |                | 業者による遊具・体育設備の点検回数 | 5回     |   |
| 部活動の状況 | 部活動の状況         | 部活動の活動日数(平均)／週    | 4.5日／週 | A |

#### <外部評価書>

平成20年3月13日(木)

自己評価書に対して、

指標の設定や達成状況については、専門家ではない外部評価者にとって理解しづらい。  
 18年度と19年度の比較はわかりやすいが、単純に数値で比較するのは問題もあると考える。  
 6年生保護者へのアンケートは非常に有用だと考えるので、今後は他校にも広げるなど充実をさせて欲しい。  
 ただ、6年生の兄弟を持たない保護者からは、中学生活に対する不安や期待は答えやすいが、「学校のイメージ」が答えにくいという意見が出ている。工夫が必要だと思われる。  
 取り組み状況については、学校評価の保護者アンケートと教師アンケート、生徒アンケートの結果から、全般的には達成されているものとする。ただ、部活動や生徒指導などへの取り組みについては、教師間でも取り組み方に差が出やすい。また、客観的な評価がしづらい部分をどのように評価すればよいのか難しい点である。  
 しかし、評価しやすい項目以上に大切な観点であるので、今後も工夫を加えて様々な方法で評価してほしい。

#### <学校の対応>

平成20年3月17日(月)

外部評価書に対して、

19年度は、学校評価を受けて、学校公開や学校に来られる機会を増やすことを計画した。ただし、雨天のため部活動参観が中止になってしまった。今後も様々な機会に参観を期待したい。また、小学6年生とその保護者向けの入学説明会では、児童・保護者向けの部活動見学を実施した。来年度も実施していきたい。  
 19年度は昨年度より、学校評議員に対して学校に来ていただく機会や説明をする機会を増やした。来年度もさらに機会を設定できるよう今後検討していきたい。  
 誠意をもって本校の教育に対し、その任に当たっていただき感謝の念に耐えない。今後も意義ある評議員会の運営に意を注ぎたいと考えている。

# 平成19年度 訓原中学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年2月22日現在)

|        |                                                                                                                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | <p>校訓「創意・誠実・健康」のもと、『知・徳・体』の調和のとれた豊かな人間性のある生徒の育成を目指す。</p> <p>ア 自ら学び、深く考え、主体的に行動する生徒</p> <p>イ 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築ける生徒</p> <p>ウ いのちを尊び、こころや体を鍛え、たくましく生きる生徒</p> |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項目                    | 指標                                    | 具体的方策                                    | 状況     | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------------|------------------------------------------|--------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                               | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数                      | 3      | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                        | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合                       | 75%    | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                          | 少人数指導やTT指導を行った                           | ○      | B    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)              | 生徒指導計画を作成し、実施した                          | ○      | B    |
|                       |                                       | 教育相談を実施した                                | ○      |      |
|                       |                                       | スクールカウンセラーを配置した                          | ○      |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                        | 定期的に生徒指導部会・生徒指導委員会を<br>いじめ・不登校対策委員会を開催した | ○<br>○ | C    |
| 進路指導                  | 進路指導体制の整備状況及び<br>進路相談、職場体験学習の<br>実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した                          | ○      | A    |
|                       |                                       | 進路相談を実施した                                | ○      |      |
|                       |                                       | 職場体験学習を実施した                              | ○      |      |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                        | 学校安全計画を作成した                              | ○      | B    |
|                       |                                       | 学校安全計画に従って実地訓練等をした                       | ○      |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                        | 学校防災計画を作成した                              | ○      | B    |
|                       |                                       | 学校防災計画に従って実地訓練等をした                       | ○      |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                 | 危機管理マニュアルを作成した                           | ○      | B    |
|                       |                                       | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した                 | ○      |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況         | 学校保健計画を作成し、実施した                          | ○      | A    |
|                       |                                       | 健康観察と傷病予防の取り組みをした                        | ○      |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況        | 就学指導委員会等の実施回数                            | 4      | B    |
|                       |                                       | 交流及び共同学習の平均時間数／週                         | 2      |      |
| 研修                    | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況                 | 現職教育計画を作成し、実施した                          | ○      | A    |
|                       |                                       | 授業研究の回数                                  | 6      |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況       | 学校評議員会の実施回数                              | 1      | B    |
|                       |                                       | PTA委員会の実施回数                              | 7      |      |
|                       |                                       | ホームページを開設した                              | ○      |      |
| 施設・設備                 | 施設・設備の効果的な活用状況                        | コンピュータ室の利用時間／週                           | 5      | B    |
|                       | 施設・設備の点検等の実施状況                        | 教員による安全点検の実施回数                           | 9      | A    |
|                       |                                       | 業者による遊具・体育設備の点検回数                        | 5      |      |
| 部活動の状況                | 部活動の状況                                | 部活動の活動日数(平均)／週                           | 5      | A    |

## <外部評価書>

平成20年2月29日(金)

自己評価書に対して、

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

- 全項目、ほぼ適正な評価である。生徒指導での評価がCなのは、様々な問題に対して体制を再構築している段階であるためと判断する。
- スクールカウンセラーをもっと活用できる体制作りを考えるべきである。
- 学校の諸問題を学校だけで抱えるのではなく、PTA、おやじの会、地域の人材や諸機関を有効に利用すべきである。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- 部活動の充実を図る。
- 生徒会を生徒の自主性に任せる体制作りを考えることが大切。
- 校長や教頭だけでなく、他の先生方もPTAやおやじの会等と話をする機会を作るべきである。

## <学校の対応>

平成20年3月31日(月)

外部評価書に対して、

### ○ 生徒指導面

- ・ 問題生徒だけでなく一般生徒に対するケアの充実(スクールカウンセラーの活用方法の見直し・教育相談の充実等)を図る。
- ・ 教師同士、生徒同士の人間関係作りの取り組みの充実(研修会の充実、学級活動や道徳、総合的な学習の時間の充実)を図る。
- ・ 生徒指導計画・対策を十分理解したうえで、早期発見、早期解決に向け全職員で取り組む。

### ○ 学習指導面

- ・ 授業を第一に大切にすることから、教科ごとの学習規律の確立を図る。
- ・ 分かる授業・楽しい授業の実践に努めると共に、授業後の個別補充学習・家庭学習の工夫をし、基礎学力の向上を図る。

### ○ 学校運営面

- ・ PTA活動の見直し。(常任委員会のあり方、あいさつ運動の実施方法、街頭指導の実施方法、学校行事への参加等)
- ・ おやじの会の取り組みの拡張(募集方法の工夫、活動内容の見直し、学校行事への積極的な参加に向けて等)
- ・ 生徒会活動、部活動、委員会活動等の活動内容の見直しと充実。

# 平成19年度 熊野中学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年3月24日現在)

|             |                                                                                                                                                                                                  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育<br>目 標 | <p>校訓「自律・勤勉・健康」をもとに知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざし、心身ともにたくましく生きる自己教育力を養うとともに、これからの社会に貢献できる、人間性豊かな生徒の育成をめざす。</p> <p>(1) 生命を大切にして、健康でたくましい気力・体力を持つ生徒</p> <p>(2) 自ら学び考える力を持つ生徒</p> <p>(3) 礼節を重んじ、豊かな心を持つ生徒</p> |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 項 目           | 指 標                           | 具 体 的 方 策                     | 状 況 | 自己評価 |
|---------------|-------------------------------|-------------------------------|-----|------|
| 教育課程<br>学習指導  | 授業の実施状況                       | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数           | 3   | A    |
|               | 運動や体力に関する調査の結果                | 新体力テスト総合評価C以上の人数の割合           | 6割  | B    |
|               | 個に応じた指導の充実状況                  | 少人数指導やTT指導を行った                | ○   | A    |
| 生徒指導          | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)      | 生徒指導計画を作成し、実施した               | ○   | A    |
|               |                               | 関係機関と連携し、健全育成推進に努めた           | ○   |      |
|               |                               | 教育相談を実施した                     | ○   |      |
|               | 問題行動等の状況及び対応状況                | いじめ・不登校対策委員会の実施回数             | 9   | B    |
| 進路指導          | 進路指導体制の整備状況及び進路相談、職場体験学習の実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した               | ○   | A    |
|               |                               | 進路相談を実施した                     | ○   |      |
|               |                               | 職場体験学習を実施した                   | ○   |      |
| 安全管理          | 学校安全計画の作成・実施状況                | 学校安全計画を作成した                   | ○   | A    |
|               |                               | 学校安全計画に従って実地訓練等をした            | ○   |      |
|               | 学校防災計画の作成・実施状況                | 学校防災計画を作成した                   | ○   | A    |
|               |                               | 学校防災計画に従って実地訓練等をした            | ○   |      |
|               | 危機管理マニュアルの作成・活用状況             | 危機管理マニュアルを作成した                | ○   | B    |
|               |                               | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した      | ○   |      |
| 保健管理          | 学校保健計画の作成・実施状況及び健康教育活動の状況     | 学校保健計画を作成し、実施した               | ○   | B    |
|               |                               | 学校保健委員会の実施回数                  | 1   |      |
|               |                               | 健康観察と傷病予防の取り組みをした             | ○   |      |
| 特別支援<br>教 育   | 校内支援体制の整備状況及び交流及び共同学習の実施状況    | 就学指導委員会等の実施回数                 | 2   | B    |
|               |                               | 個別の支援計画、個別の指導計画を作成し、教育的支援を行った | ○   |      |
|               |                               | 交流及び共同学習の平均時間数/週              | 10  |      |
| 研 修           | 校内研修の実施体制の整備・実施状況             | 現職教育計画を作成し、実施した               | ○   | B    |
|               |                               | 授業研究の回数                       | 3   |      |
| 保護者・地域住民等との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の状況及び情報提供の実施状況   | 学校評議員会の実施回数                   | 2   | A    |
|               |                               | PTA委員会の実施回数                   | 4   |      |
|               |                               | ホームページの更新に努めた                 | ○   |      |
| 施設・設備         | 施設・設備の効果的な活用状況                | コンピュータ室の利用時間/週                | 10  | B    |
|               | 施設・設備の点検等の実施状況                | 教員による安全点検の実施回数                | 11  | A    |
|               |                               | 業者による遊具・体育設備の点検回数             | 5   |      |
| 部活動の状況        | 部活動の状況                        | 部活動の活動日数(平均)/週                | 5   | A    |

## <外部評価書>

平成20年3月24日(月)

### 自己評価書に対して

(指標の達成状況や取組の状況、取組の適切さについて)

- ① 学校の信頼が揺らぐ事件以降、関係機関との行動連携により、心豊かな生徒の育成を図り、学校再生を果たすことができたと評価する。
- ② 各項ともおおむね目標を達成できたと評価する。特別支援教育についても課題であった支援体制の整備が進められている。
- ③ 保護者や地域から信頼され、期待される学校づくりが求められている。そのキーワードは1時間1時間の授業である。「授業こそ学校の命」であるという視点に立って、授業実践・授業改善を生徒指導や学級経営の充実と併せて進めてほしい。そのためには現職教育・研究授業の充実を期待したい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

- ① 学校公開のみならず、ホームページの充実や学校だよりの発行、その他啓発文書の配付等、開かれた学校づくりを確実に着実に進めている。今後も充実を図ってほしい。
- ② 学校運営機構に位置付けられた各種委員会がもれなく開催され、機能するようにしてほしい。
- ③ いじめ・暴力防止に関する調査研究が進められつつある。真に生徒のための研究となるよう、成果を期待したい。

## <学校の対応>

平成20年3月24日(月)

### 外部評価書に対して

- ① 国立教育政策研究所や北名古屋市教育局指導のもと、予防教育的な生徒指導を職員一丸となって推進する。
- ② 教師力や授業力向上のための研修の機会の充実を図る。特別支援教育についても全ての職員が適切な教育支援が行えるよう、研修を深める。
- ③ 自己評価・自己点検を念頭に、P-D-C-Aのマネジメントサイクルに則った教育活動の定着を図る。
- ④ ヘルスプロモーションの理念に基づき、生徒の健康づくりや生徒の問題解決に資するため、学校医を交えた学校保健委員会の開催・充実を図る。

# 平成19年度 天神中学校 評価書

<自己評価書>

(平成20年2月14日現在)

|        |                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 | <p>教育基本法の精神をふまえ、公教育としての使命、地域の特性、生徒の実態を基盤にして知・徳・体の調和のとれた、これからの社会に貢献できる生徒の育成に向けて、三つの目指す生徒像を定め、その実現に努める。</p> <p>○深く考え、自ら学ぶ生徒(知)</p> <p>○礼儀正しく、思いやりのある生徒(徳)</p> <p>○からだを鍛え、ねばり強い生徒(体)</p>                                                     |
|        | <p>&lt;重点努力目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境を整備し、生徒が安全で安心して学べるように努める。</li> <li>・学校内のあらゆる実践現場において受容的・共感的な人間関係が構築されるよう努める。</li> <li>・各教科等の基礎・基本の定着を図ると共に、確かな学力の向上を目指す。</li> <li>・現職教育を充実させ、教師力・学校力の向上を目指す。</li> </ul> |

| 項目                    | 指標                                    | 具体的方策                    | 状況    | 自己評価 |
|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------|-------|------|
| 教育課程<br>学習指導          | 授業の実施状況                               | 予定時間数よりも多く授業を行った学年数      | 3     | A    |
|                       | 運動や体力に関する調査の結果                        | 体力テスト総合評価C以上の人数の割合       | 51.6% | B    |
|                       | 個に応じた指導の充実状況                          | 少人数指導やTT指導を行った           | ○     | A    |
| 生徒指導                  | 生徒指導体制の整備状況<br>(心のケアを含む)              | 生徒指導計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                       | 教育相談を学期に1回実施した           | ○     |      |
|                       |                                       | スクールカウンセラーを活用した          | ○     |      |
|                       | 問題行動等の状況及び対応状況                        | いじめ・不登校対策委員会を開催した        | 毎月    | B    |
| 進路指導                  | 進路指導体制の整備状況及び<br>進路相談、職場体験学習の<br>実施状況 | 進路指導計画を作成し、実施した          | ○     | B    |
|                       |                                       | 進路相談を実施した                | ○     |      |
|                       |                                       | 職場体験学習を実施した              | ○     |      |
| 安全管理                  | 学校安全計画の作成・実施状況                        | 学校安全計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                       | 学校安全計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 学校防災計画の作成・実施状況                        | 学校防災計画を作成した              | ○     | A    |
|                       |                                       | 学校防災計画に従って実地訓練等をした       | ○     |      |
|                       | 危機管理マニュアルの作成・活用<br>状況                 | 危機管理マニュアルを作成した           | ○     | B    |
|                       |                                       | 危機管理マニュアルを活用(避難訓練等を実施)した | ○     |      |
| 保健管理                  | 学校保健計画の作成・実施状況<br>及び健康教育活動の状況         | 学校保健計画を作成し、実施した          | ○     | B    |
|                       |                                       | 健康観察と傷病予防の取り組みをした        | ○     |      |
| 特別支援<br>教育            | 校内支援体制の整備状況及び<br>交流及び共同学習の実施状況        | 就学指導委員会等の実施回数            | 年1回   | B    |
|                       |                                       | 交流及び共同学習の平均時間数/週         | 週4時間  |      |
| 研 修                   | 校内研修の実施体制の整備・<br>実施状況                 | 現職教育計画を作成し、実施した          | ○     | A    |
|                       |                                       | 授業研究の回数                  | 5回    |      |
| 保護者・地<br>域住民等<br>との連携 | 学校評議員やPTAとの連携の<br>状況及び情報提供の実施状況       | 学校評議員会の実施回数              | 2回    | B    |
|                       |                                       | PTA委員会の実施回数              | 5回    |      |
|                       |                                       | ホームページを開設した              | ○     |      |

|        |                |                   |     |   |
|--------|----------------|-------------------|-----|---|
| 施設・設備  | 施設・設備の効果的な活用状況 | コンピュータ室の利用状況      | ○   | B |
|        | 施設・設備の点検等の実施状況 | 教員による安全点検の実施回数    | 月1回 | A |
|        |                | 業者による遊具・体育設備の点検回数 | 5回  |   |
| 部活動の状況 | 部活動の状況         | 部活動の活動日数(平均)/週    | 週4日 | A |

#### <外部評価書>

平成20年3月6日(木)

自己評価書に対して、

(指導の達成状況や取組みの状況、取組みの適切さについて)

学校行事(体育大会、文化祭、卒業式等)の際に、学校環境・雰囲気、生徒の生活の様子を見ることができたが、学校環境は花壇等が手入れされ潤いのある環境である。生徒も全体的に挨拶もでき、落ち着いた生活ぶりがうかがえた。いじめ等についても適切な対応で昨年度より減少傾向にあるので今後も早期発見・対応をお願いしたい。

(その他の学校運営の改善に関する意見など)

中学校として生徒が将来必要な基礎的な学力や人間性を育てるような教育活動を実践してほしい。

#### <学校の対応>

平成20年3月6日(木)

外部評価書に対して、

- ・生徒が安全安心して学べる、潤いと落ち着いた学習環境づくりを継続する。
- ・現職教育を充実させ授業研究を進め、生徒に基礎基本、確かな学力を身につけさせる。
- ・いじめについて継続的な相談、観察をおこない未然防止、根絶を目指すとともに、発生した場合の適切な対応ができるようにする。